

Otsuka Chemical Co., Ltd.

会 社 案 内

は じ め に

大塚グループ 企業理念

Otsuka-people creating new products
for better health worldwide

世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する

大塚化学 企業理念

私も信頼 会社も信頼 信頼は社会の夢
技術と心で信頼の構築
信頼と人の輪を世界に広げよう

大塚化学は、この企業理念のもと、創造的技術でお客様に貢献、信頼される企業を目指しています。

大塚化学 健康宣言

大塚グループ企業理念“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”
(世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する)ならびに大塚化学の企業理念
“私も信頼、会社も信頼 信頼は社会の夢 技術と心で信頼の構築 信頼と人の輪を世界に
広げよう”の実現には社員一人ひとりの心身の健康が不可欠です。

大塚化学は、全社員が信頼関係を築きながら生き生きと働くことが出来る職場環境を実現
するとともに、社員の健康の維持・増進に組織全体で取り組む事を宣言します。

2020年6月
大塚化学株式会社
代表取締役社長 土佐浩平

ご あ い さ つ

大塚化学は素材の力を顧客と共に
創造的に、かたちにする会社です。

代表取締役社長

土佐 浩平



大塚化学は、

「Otsuka-people creating new products for better health worldwide」

という大塚グループの企業理念のもと、世界の人々の暮らしや健康に役立つ素材を生み出して
きました。

1950年、海水の「にがり」から始まった大塚化学グループは、無機／有機化学品、樹脂複合
材料、機能性ポリマー、医薬品原薬／中間体など、様々な素材を全世界に提供して参りました。
大塚化学におきましては、素材力をKATACHIにするビジネス、すなわち「KATACHI Business™」を
重要なテーマとして掲げ、これまでの「素材ビジネス」に加え、部品のような「かたち」ある製品群を
「KATACHI Business™」として組合せることにより、世界中のお客様の多様な困りごとに必ず
応える会社として、グローバルに成長することを目指してまいります。それにより、迅速にお客様の
ニーズに寄り添う革新的な製品を開発してまいります。

また、私ども化学品業界は、カーボンニュートラルなどの様々な課題があります。今後も、
サステナビリティの実現に向けた取り組みによりいっそう力を注ぎ、持続可能な社会の実現に
貢献してまいります。

今後とも、皆様のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

Webサイトは
こちらから



大塚グループ 企業理念

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する

大塚グループ 目指す姿

To become an indispensable contributor to people's health worldwide

世界の人々の健康に貢献する、なくてはならない企業

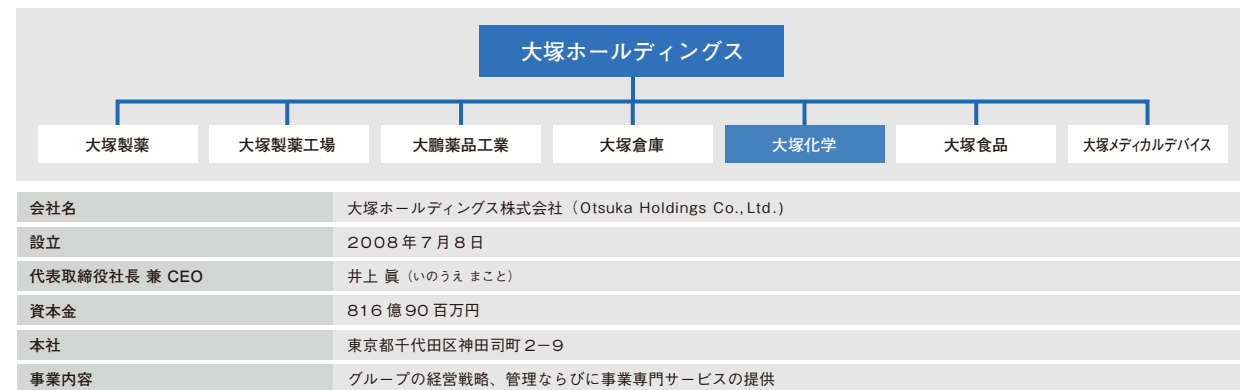
概要

大塚グループは、疾病の診断から治療までを担う「医療関連事業」と、科学的根拠を持つ製品・サービスにより日々の健康の維持・増進をサポートする「ニュートラシューティカルズ*1関連事業」を始めとする多様な事業を、グローバルに展開しています。1921年の創業以来、歴代の経営者が育ててきた「流汗悟道」「実証」「創造性」という大塚のDNAを受け継ぎ、世界の人々の健康への貢献を目指して活動を続け、現在では世界32カ国・地域で、約38,000人*2の社員が事業を推進しています。

私たちは、健康に関する多様な社会課題に包括的に取り組むトータルヘルスケア企業として、一人ひとりの健康、そしてその先にあるその人らしい“生き方”に寄り添う、独自の価値創造に挑戦し続けていきます。

*1. ニュートラシューティカルズ(Nutraceuticals = nutrition(栄養) + pharmaceuticals(医薬品)) *2. 2025年12月末現在。大塚ホールディングスおよびその連結子会社:182社

グループ構成

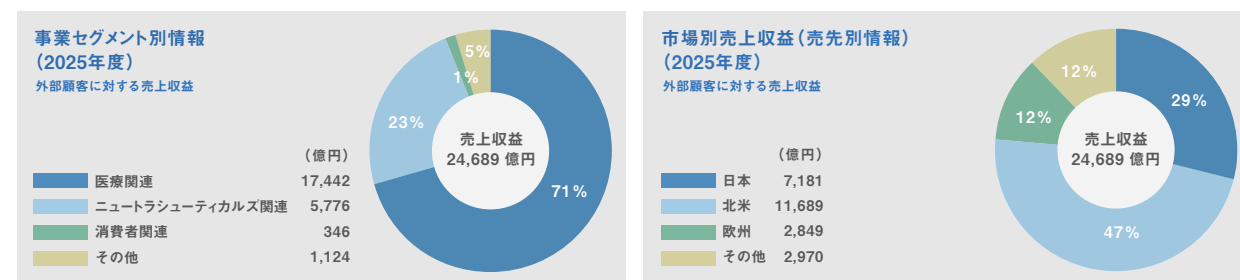


沿革

- 1921年：徳島県鳴門市に化学原料メーカーとして創業
- 1946年：輸液（点滴注射液）事業を開始し、医薬品事業に参入
- 1965年：消費者向けの健康飲料（オロナミンCドリンク）を発売、ニュートラシューティカルズ関連事業に参入
- 1971年：大塚製薬が大塚グループとして初の自社医薬品研究室を設立
- 1973年：世界の人々の健康に貢献することを目的に初の海外進出
- 2008年：グループ全体の持続的な企業価値向上を目指し、グループの純粋持株会社として大塚ホールディングスを設立
- 2010年：東京証券取引所*市場第一部に上場
- 2021年：創業100周年

*2022年4月より同取引所プライム市場に移行

財務内容



大塚ホールディングス株式会社の詳細はこちら ▶ <https://www.otsuka.com/jp/> CSR 活動はこちら ▶ https://www.otsuka.com/jp/csr/hd_activity/

大塚グループのサステナビリティ

大塚グループにとって、より良い未来へ向けた社会課題の解決は、事業活動そのものです。その考えと取り組みは、今、人の健康づくりだけでなく、社会の健康づくりや地球の健康づくりへも、広がっています。多種多様なグループが一体となり、企業の持続的成長とサステナブルな社会の実現に向け、トータルヘルスケアカンパニーとして、大塚グループはこれからも歩みを続けていきます。

企業理念

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する

目指す姿

To become an indispensable contributor to people's health worldwide

世界の人々の健康に貢献する、なくてはならない企業

サステナビリティミッション

大塚グループは、企業理念のもと、事業を通じた社会課題の解決に取り組み、自らの持続的な成長と健康でサステナブルな社会の実現を目指します。

サステナブルな社会の実現に貢献



マテリアリティと取り組みテーマ

サステナビリティミッションの達成にむけ、4つの重要項目（マテリアリティ）を特定しました。各マテリアリティ毎に戦略、施策、指標を設定し、取り組みを進めます。



トータルヘルスケア企業として世界の人々へ Well-beingを提供

Better healthからBeyond health、そしてWell-beingへ

グループ内外の多様な資産を活用した製品価値の最大化

満たされていない医療ニーズに対応する研究開発力の強化

世の中の変化に適応し、複合的な健康ソリューションを生活者に提供



企業理念を実現する人財の育成と環境整備

大塚だからできる多様な人財の活躍

企業理念の実現に向け、イノベーションの源泉である人財力を強化

人財力を最大化させるための環境整備



ビジネスパートナーと協働したサステナブルな社会の実現

持続可能なサプライチェーン

リスクに対応した強固な安定調達体制の構築

責任ある調達の推進



地球環境への負荷低減

2050年環境ビジョン ネットゼロ

カーボンニュートラル

サーキュラーエコノミー

ウォーターニュートラル
バイオダイバーシティ

大塚グループのサステナビリティの詳細はこちら ▶ <https://otsuka.com/jp/sustainability/>

大塚化学は「素材のチカラ」を「KATACHI」にする会社™です

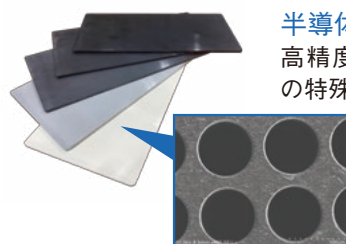


大塚化学は、これまで粉末状や液状など、部品になる前の「素材」を提供してきました。
これからは、素材の力と自社のコア技術を活用し、これまでの事業範囲を超えて新たな挑戦を続けています。
その一環として立ち上げられたのが「KATACHI Business™」です。
単なる素材販売にとどまらず、素材を部品のような製品群としてKATACHIにすることで新たな価値を創造する。
この新たな取り組みを「KATACHI Business™」と呼んでいます。

KATACHI Business™

主な活動実績

半導体・ロボット・ディスプレイ・自動車・中分子などの成長する分野にむけて
私たちの素材力を生かし顧客と協力し、新規事業を立ち上げています。



半導体検査治具用板材
高精度な検査を可能にするための
特殊な板材を提供しています。



精密樹脂ギヤ
高い耐久性と精度を持つ樹脂ギヤ
を開発しています。



3Dプリンタ用フィラメント
高強度・高精密の3D造形を実現
できる材料を開発しています。

その他のプロジェクト

新たな材料や技術を活用した多様なプロジェクトを展開
しています。

- ・無機塗料、遮熱塗料
- ・ペレット状のポチコンから、フィルムやシートの製造販売へ
- ・医薬中間体の製造業から、原薬ビジネスの強化へ、さらには
医薬品の中間体～原末まで扱う総合受託型企業へ
- ・フォルダブル型スマートフォン用OCAフィルム

Webサイトは
こちらから



大塚化学株式会社 Otsuka Chemical Co., Ltd.

- 設 立 1950年8月29日
- 資 本 金 50億円
- 代 表 者 代表取締役社長 土佐 浩平
- 事業内容 化学品の製造、販売
- 本 社 〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通3-2-27
- 従 業 員 連結2,571名 単体540名(2025年度12月末現在)
- 売 上 高 連 結[※]：81,301百万円(2025年度)
単 体：38,226百万円(2025年度)

※単体及び化学品事業会社(海外 現法人含む)の2025年1月～12月の合計数値。
「注記」連結数値は、当社と化学品事業関連会社(海外現法を含む)の連結を算出しており、監査を受けておりません。



事業所一覧

- | | |
|--|--|
| 本社
〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通3-2-27
TEL：06-6943-7701(代) | 材料開発研究所、有機・高分子材料研究所、技術開発研究所
〒771-0193 徳島県徳島市川内町加賀須野463
TEL：088-665-1689 |
| 東京本部
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2
TEL：03-5297-2727 | 徳島工場
〒771-0193 徳島県徳島市川内町加賀須野463
TEL：088-665-1516 |
| 中部エリア事業開発室
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-5-28 桜通豊田ビル13F
TEL：052-571-5526 | 松茂工場
〒771-0213 徳島県板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-40
TEL：088-699-7980 |
| ベトナム事務所
Rep. Office of Otsuka Chemical Co., Ltd. in HCMC
7F, Empire Tower Building, 26-28 Ham Nghi Street, Ben
Nghe Ward, District 1, Ho Chi Minh City 700000 VIETNAM
TEL: +84 28 3636 1575 | 鳴門工場
〒772-8601 徳島県鳴門市里浦町里浦字花面615
TEL：088-684-2266 |

国内子会社

- | | | |
|---|--|--|
| エムジーシー大塚ケミカル株式会社
Otsuka-MGC Chemical Company, Inc. | 設 立 年 月 日：2004年4月1日
資 本 金：4億5千万円
住 所：〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀一丁目5番16号 JMFビル肥後橋 01 2階
U R L：http://www.moc-hh.co.jp | P h o n e：06-6445-1501
F a x：06-6445-1502
事 業 内 容：水加ヒドラジンの製造及び販売 |
|---|--|--|

エムジーシー大塚ケミカル株式会社は2004年4月に大塚化学株式会社と三菱ガス化学株式会社がヒドラジン事業を
独立させて設立された日本で唯一そして世界でも大手の「水加ヒドラジン」の事業会社です。水加ヒドラジンは主用途
であった水処理関連、化学発泡剤関連と農業用薬剤関連に加えて電子材料、医療、発電所、樹脂、化学品の各分野
へと 用途が広がっており、益々「人々の豊かで安全な生活」に欠かせない重要な製品となっております。世界トップの
水加ヒドラジン専業メーカーとしての責任と誇り、さらに事業領域を広げ、環境、エネルギー分野へ貢献できるように
努めてまいります。



Webサイトは
こちらから



概要

東山フィルム株式会社 Higashiyama Film Co., Ltd.

設立年月日：1949年5月23日
資本金：10億87百万円
住所：愛知県名古屋市中村区名駅4-5-28 桜通豊田ビル13F
URL：http://www.hynt.co.jp/
Phone：052-589-9105
Fax：052-589-9107
事業内容：工業用フィルムの加工及び販売

東山フィルム株式会社は1949年に設立し、すでに70年以上の歴史があります。自社加工設備でのフィルムの成型加工から始まり、1997年にコーティング受託加工をスタートして現在に至ります。現在は受託加工にて培ったノウハウをもとに自社開発のフィルム製品に力を入れており、近年自社開発したARフィルム（AntiReflection:反射防止）については、これから成長が期待されるフォルダブルディスプレイ、モビリティディスプレイをターゲットに事業開発を進めています。歴史と信頼を実績に、これまで構築した自社生産設備で実現する「加工技術力」、新たに挑戦を始めた「コート材配合技術力」、それを実現する「人材」で、新たな高機能フィルムのニーズにお応えします。



hakkai株式会社 hakkai inc.

設立年月日：1967年7月1日
資本金：5,730万円
住所：新潟県南魚沼市九日町2845
URL：https://hakkai.jp/
Phone：025-777-2410
Fax：025-777-2881
事業内容：精密プラスチック金型設計製作、エンジニアリングプラスチック成形加工等

hakkaiは、精密プラスチック金型の設計・製作から成形、各種組立までを一貫して手がけています。小ロットから量産まで幅広く対応し、国内外の生産拠点を活かして、自動車・家電・産業機器など多様な分野へ製品を供給しています。また、加工技術の分野では、微細加工工業会主催の「微細加工コンテスト」において受賞実績を有するなど、高い技術力が評価されています。八海山の麓、自然豊かな魚沼の地で培った技術と人材を礎に、他社には真似のできないものづくりを追求し、お客様の多様なニーズにお応えしています。



株式会社 アグリベスト Agribest Co., Ltd.

設立年月日：2003年9月1日
資本金：8000万円
住所：〒771-1610 徳島県阿波市市場町香美字西原25番地
URL：http://www.agribest.jp/
Phone：0883-36-6201
Fax：0883-36-6202
事業内容：農産物の生産及び販売

アグリベストは自然の力を最大限に引き出し、“おいしく”、“新鮮で”、“栽培履歴が明らかな”「顔」の見える農産物を消費者に提供することを目的に設立されました。「品質と価格」で消費者に納得いただける“安全で安心”な農産物を提供いたします。



大塚オーミ陶業株式会社 Otsuka Ohmi Ceramics Co., Ltd.

設立年月日：1973年7月14日
資本金：1億円
住所：〒540-0021 大阪市中央区大手通3-2-21
URL：https://www.ohmi.co.jp/
Phone：06-6943-6695
Fax：06-6943-6487
事業内容：陶板(toban)の企画、設計、製作、施工

大塚オーミ陶業は、1973年の設立以来、大型陶板、テラコッタ、OTセラミックスを3つの軸とし、平面、立体のアートから建築分野、暮らしを彩る生活の領域に至るまで、お客様のニーズに合わせ、幅広く対応しております。また、複製技術においても高い評価をいただいており、キトラ古墳石室内壁画を原寸大の陶板で複製するなど、貴重な文化財の記録保存にも活用されています。大塚国際美術館では1000余点の原画を原寸大の陶板で再現しています。



国内工場

徳島工場



徳島工場は1969年に開設。化学品のヒドラジンの生産を開始し、翌年にはボンカレー等のレトルト食品の生産を開始しました（食品事業は、現在、大塚食品（株）が行っています）。1973年に医薬品製造許可を取得しています。

医薬品製造許可品目；β-ラクタマーゼ阻害剤（TAZOBACTAM）

主な製造品
ティスモ（機能性無機繊維）
TERPLUS（分散剤・粘着剤）
マルツール（香料）
樹脂添加剤・軟化剤
樹脂改良剤
ヒドラジン誘導体

〒771-0193
徳島県徳島市川内町加賀須野463
TEL：088-665-1516 FAX：088-637-1099

鳴門工場



鳴門工場は大塚化学発祥の工場として、1950年に開設。無機化学製品、重合開始剤などの化学品からスタートしました。

主な製造品
無機塩類
重合開始剤

〒772-8601
徳島県鳴門市里浦町里浦字花面615
TEL：088-684-2266 FAX：088-684-2359

松茂工場



松茂工場は2000年開設。医薬品中間体の生産を開始し、翌年に機能性複合材料「ポチコン」「ウイスタット」の生産を開始しました。大塚化学としては最新の生産拠点となります。

主な製造品
ポチコン（機能性複合材料）
GCLE誘導体（医薬品中間体）

〒771-0213
徳島県板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-40
TEL：088-699-7980 FAX：088-699-7965

研究開発

ユニークケミカルで、持続可能な社会の実現に挑戦します。

大塚化学株式会社は、“創造的技術で顧客に貢献”を理念とし、世界に通用する独自の技術でグローバル市場を目指した製品の研究開発を行っています。また近年にはカーボンニュートラルなどのサステナビリティの実現に向けた研究開発にも、よりいっそう注力をしています。

研究所紹介

大塚化学グループでは無機／有機化学品、樹脂複合材料、機能性ポリマー、医薬品原薬／中間体など、様々な独自素材を研究開発し、グローバルに提供しています。さらに「素材の力をかたちにする事業 (KATACHI Business™)」の推進に向けて、新しいコア技術の創生にも挑戦を続けています。



材料開発研究所

チタン酸塩を中心とした無機材料の研究開発と、樹脂と無機材料を巧みに組み合わせた機能性樹脂複合材料の開発を通して、新たなソリューションを次世代の様々な分野に向けて提案しています。

主な研究内容

- ・チタン酸塩を基盤とした無機材料の開発
- ・機能性樹脂複合材料の開発
- ・成形/加工技術の構築



有機・高分子材料研究所

独創的な設計技術の下、革新的なゴム用添加剤と機能性ポリマーの研究開発を行っています。産業界のニーズに応えるため、持続可能で高性能な材料の創出に取り組んでいます。

主な研究内容

- ・ゴム材料を高機能化させる独創的ゴム用添加剤開発
- ・リビングラジカル重合技術を基盤とした機能性ポリマー材料開発
- ・工業化に向けたプロセス開発、およびグローバル生産技術開発



技術開発研究所

日本で初めて工業化に成功した水加ヒドラジンを軸に発泡剤、アゾ系重合開始剤、半導体向け高純度製品など、お客様のニーズに合わせた各種誘導体のカスタム合成まで幅広い研究開発を行っています。また、セファロ系抗生物質の鍵中間体である「GCLE」の開発技術を基に、各種医薬品原薬・中間体のプロセス開発を行っています。

主な研究内容

- ・ヒドラジン誘導体のプロセス開発、製品化
- ・β-ラクタム原薬・中間体のプロセス開発、製品化
- ・高純度製品の開発、製品化



Webサイトは
こちらから



沿革

技術と心でお客様の信頼にお応えして、 大塚化学は成長を続けてきました。

1950年の設立以来、化学品製造販売のトップメーカーとして多くのお客様に信頼をいただけてきました。大塚グループの中核企業のひとつとして、私たちはこれからも成長を続けてまいります。

1950

大塚化学薬品株式会社設立
「硝酸カリ」「ヒドラジン」等の製造販売開始
徳島工場(現 鳴門工場)を開設

1956

発泡剤「ユニフォームAZ」発売

1965

「オロナミンCドリンク」発売
※現在は大塚製薬(株)が販売

1968

「ボンカレー」の製造販売開始
※現在は大塚食品(株)が販売

1969

今切工場(現 徳島工場)を開設
資本金を24億円に増資

1974

ヒドラジン製造設備増設

1977

食品添加物(着香料)「マルトール」発売

1978

チタン酸カリウム繊維「ティスモ」発売

1984

大塚家具工業株式会社と合併し、
資本金を28億円に増資、家具事業部新設
大塚化学株式会社に社名変更

1988

韓国大塚化学株式会社(韓国)
(現 KOC株式会社)設立

1989

P.T.ラウタン大塚ケミカル(インドネシア)設立
ヘブロンS.A.(スペイン)を買収

1990

抗生物質中間体「GCLE」発売

1991

β-ラクタマーゼ阻害剤「YTR」原薬製造設備完成

2000

松茂工場を開設
チタン酸塩「テラセス」発売

2002

大塚食品株式会社を株式交換により子会社化
資本金を33億円に増資
大塚化学ホールディングス株式会社に社名変更
事業持ち株会社に移行
化学品・農薬肥料事業を継承する「大塚化学株式会社」
と家具事業を継承する「大塚家具製造販売株式会社」
を新設

2003

株式会社アグリベスト設立

2004

エムジーシー大塚ケミカル株式会社設立
張家港大塚化学有限公司(中国)設立

2006

大塚ケミカルインディア(インド)設立
トレセレンイベリカ(スペイン)に資本参加

2009

大塚化学ホールディングス株式会社が
大塚化学株式会社を吸収合併し、社名を大塚化学株式会社に
変更
株式交換により、大塚ホールディングスの完全子会社となる

2010

アグリテクノ事業を分社化し、
大塚アグリテクノ株式会社を新設
(現OATアグリオ株式会社)
大塚ホールディングス株式会社が
12月15日、東京証券取引所市場第一部へ上場

2011

大塚グループ創業90年

2013

大冢材料科技(上海)有限公司設立

2014

Noble Skill Limited(香港)を買収
大塚華南精密器械(深圳)有限公司(中国)を買収
大塚ターフテック株式会社を子会社化
大塚ケミカルアメリカ設立
徳島工場「TERPLUS」プラント竣工
東山フィルム株式会社、東山塑料薄膜(上海)有限公司
(現東舩(上海)塑胶薄膜有限公司)を買収

2015

大塚ケミカルアメリカ「テラセス」工場竣工

2016

大冢化学(上海)有限公司
(現大冢化学管理(上海)有限公司)設立

2017

大塚ケミカルインディア(インド)のGCLEプラントを増設

2019

アステラス製薬株式会社よりセフィキシム事業の一部を承継

2023

ベトナム事務所開設

Webサイトは
こちらから



海外 ネットワーク

グローバルな信頼獲得を目指して。 海外10カ国に広がるネットワーク。

1988年に韓国でヒドラジンを製造販売する会社を設立して以来、世界各地に生産販売拠点を設置しています。それぞれの国や地域で尊敬される「よき企業市民」となるよう、私たちは日々努力を続けてまいります。

海外拠点



① KOC株式会社

KOC Co.,Ltd.
設立年月日：1988年11月2日
資本金：150億ウォン
住 所：大韓民国 蔚山広域市 蔚州郡 温山邑 梨津路67-34
Phone：+82-52-240-1200
F a x：+82-52-238-5886
事業内容：水加ヒドラジンの製造販売
U R L：http://www.ikoc.co.kr



② 东舢(上海)塑胶薄膜有限公司

Higashiyama(ShangHai) Film Co., Ltd.
設立年月日：2019年3月15日
資本金：2百万ドル
住 所：中国上海市闵行区申長路900号 虹橋天地2号棟208室
Phone：+86-21-3471-0325
F a x：+86-21-3471-0028
事業内容：工業用フィルムのマーケティングと販売



③ PTラウタン大塚ケミカル

PT Lautan Otsuka Chemical
設立年月日：1989年7月17日
資本金：22.5百万ドル
住 所：Graha Indramas, 5th floor Jl. AIP II K.S Tubun Raya No.77, Jakarta 11410 Indonesia
Phone：+62-21-5367-1251
F a x：+62-21-5367-1250
事業内容：発泡剤の製造販売
U R L：https://lautanotsuka.com



④ ヘブロンS.A.

Hebron S.A.
設立年月日：1961年11月22日
(買収1989年11月16日)
資本金：330千ユーロ
住 所：Calle Girona, 20 08120 - La Llagosta, Barcelona, Spain
Phone：+34-93-574-2011
F a x：+34-93-560-1559
事業内容：樹脂添加剤を中心とした一般化学品の製造販売
U R L：https://www.hebronsa.es/



⑤ トロセレン イベリカ S.A.

Trocen Iberica S.A.
設立年月日：1988年12月20日
(資本参加2006年7月31日)
資本金：6,664千ユーロ
住 所：C/Avila, N°22-G E-28804, Alcalá de Henares (Madrid) Spain.
Phone：+34-91-885-5500
F a x：+34-91-885-5501
事業内容：ポリオレフィン発泡体製造販売
U R L：https://trocen.com/



⑥ 大冢化学管理(上海)有限公司

Otsuka Chemical (Shanghai) Co., Ltd.
設立年月日：2016年10月26日
資本金：2百万ドル
住 所：中国上海市闵行区申長路900号 虹橋天地2号棟208室
Phone：+86-21-6236-8548
F a x：+86-21-6236-8160
事業内容：当社及び張家港大塚化学製品の中国国内への販売
U R L：https://www.otsukasoc.com/



⑬ ハッカイ メキシコ株式会社

HAKKAI MEXICO S.A. de C.V.
設立年月日：2016年5月(買収 2025年10月27日)
資本金：1.5百万ドル
住 所：Boulevard Milenium No. 5020 B, Parque Industrial Milenium, Apodaca Nuevo Leon C.P. 66626
Phone：+52-81-8865-0850
事業内容：精密プラスチック金型設計製作、エンジニアリングプラスチック成形加工
U R L：https://hakkai.jp/company/overseas-bases/mexico



⑪ 八海精密成型(蘇州)有限公司

HAKKAI PRECISION (SUZHOU) CO.,LTD.
設立年月日：2011年11月7日
資本金：11.2百万ドル
住 所：中国 江蘇省 蘇州市蘇州工業園区 金江路18号
Phone：+86-512-6280-5865
F a x：+86-512-6280-0210
事業内容：精密プラスチック金型設計製作、エンジニアリングプラスチック成形加工
U R L：https://hakkai.jp/company/overseas-bases/suzhou



⑭ ハッカイ プレシジョン タイランド

HAKKAI PRECISION (THAILAND) CO.,LTD.
設立年月日：2004年7月1日
資本金：215百万タイ・バート
住 所：Hi-Tech Industrial Estate 156 Moo 1, Tambol Banlane, Amphur Bangpa-In, Ayutthaya 13160 Thailand
Phone：+66-0-3535-1672～5
F a x：+66-0-3535-1676
事業内容：精密プラスチック金型設計製作、エンジニアリングプラスチック成形加工
U R L：https://hakkai.jp/company/overseas-bases/thailand



⑩ 大塚華南精密器械(深圳)有限公司

Otsuka South China Precision Instruments (Shenzhen) Co., Ltd.
設立年月日：2011年11月13日
(買収 2014年1月10日)
資本金：6.22百万人民元
住 所：中国 広東省深圳市宝安区沙井街道 同富裕工業園A-5区B10
Phone：+86-755-8144-4001
F a x：+86-755-8144-4008
事業内容：プラスチック精密部品製造販売



⑫ 大塚ケミカルインディア

Otsuka Chemical (India) Pvt. Ltd.
設立年月日：2006年1月2日
資本金：456百万ルピー
住 所：402, JMD Pacific Square, Sector 15, Part-2, Gurgaon (Haryana) 122001, India
Phone：+91-124-4597979
F a x：+91-124-4597980
事業内容：医薬中間体、化学品の製造、販売
U R L：http://www.otsukaindia.com/



⑬ 大塚ケミカルアメリカInc.

Otsuka Chemical America, Inc.
設立年月日：2014年2月6日
資本金：37百万ドル
住 所：100 The Lakes Parkway, Griffin GA 30224 USA
Phone：+1-678-572-4665
事業内容：チタン酸塩「テラセス」の製造販売
U R L：https://www.otsukachemicalamerica.com/

海外事務所



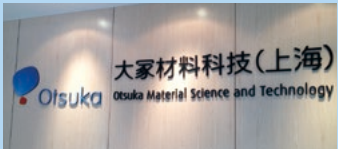
⑮ ベトナム事務所

Rep. Office of Otsuka Chemical Co., Ltd. in HCMC
住 所：7F, Empire Tower Building, 26-28 Ham Nghi Street, Ben Nghe Ward, District 1, Ho Chi Minh City 700000 VIETNAM
Phone：+84 28 3636 1575



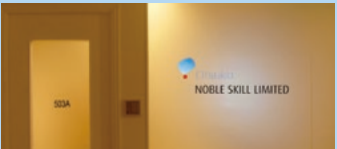
⑦ 張家港大塚化学有限公司

Zhangjiagang Otsuka Chemical Co.,Ltd.
設立年月日：2004年10月26日
資本金：15百万ドル
住 所：中国 江蘇省張家港市 江蘇揚子江 國際化学工業園 南海路33号
Phone：+86-512-5690-7600
F a x：+86-512-5690-7616
事業内容：チタン酸塩、特殊コンパウンドの製造販売
U R L：http://www.otsukac.com.cn



⑧ 大冢材料科技(上海)有限公司

Otsuka Material Science and Technology (Shanghai) Co.,Ltd.
設立年月日：2013年3月21日
資本金：10百万人民元
住 所：上海市闵行区蓮花南1969号 4棟2階、郵便番号201100
Phone：+86-21-6091-7675
F a x：+86-21-6191-2937
事業内容：高付加価値コンパウンド、配合剤の研究開発及び評価
U R L：http://www.otsukamst.com/



⑨ 高寶華南有限公司

Noble Skill Limited
設立年月日：2004年2月27日
(買収 2014年1月10日)
資本金：28.14百万香港ドル
住 所：Unit 1503C,15/F., Eastern Centre, 1065 King's Road, Quarry Bay, Hong Kong.
香港鰂魚涌英皇道1065号東達中心15樓1503C室
Phone：+852-2861-0995
事業内容：樹脂、樹脂加工品及び組立加工品の販売

大塚化学による化学品事業

素材を核とし、常に技術革新し豊かな暮らしを社会にもたらす製品づくりを目指しています。ヒドラジン事業、無機素材・複合材事業、医薬品原薬・中間体事業を中心とし「自動車」「電気電子機器」「住宅」「医薬」分野へグローバルに製品を提供しています。

ケミカル・ マテリアル 事業

無機塩類などの基礎化学品から高機能ポリマー、ヒドラジン誘導体、ゴム用添加剤といった特殊化学品まで幅広い製品により豊かな社会の実現に貢献しております。

ケミカルソリューション事業部には大塚グループ発足時からの事業である無機塩類に加えて、現在ではヒドラジン誘導体、ゴム用添加剤、重合開始剤、高機能ポリマー、紫外線吸収剤と多種多様な製品があり、これらの製品は医療、住宅、電子機器、自動車といった幅広い用途に活用されております。

ゴム用添加剤Acroad、高機能ポリマーTERPLUSは有機・高分子材料研究所、ヒドラジン誘導体は技術開発研究所で日々研究開発を行い、ラボスケールからプラントスケールまで顧客のニーズに合わせたカスタマイズを行うことで顧客に多様なソリューションを提供し、ユニークな化学製品を生み出すことを目指しております。



有機材料分野、無機材料分野をはじめ、新しい「素材」「樹脂複合材料」の研究開発・製造を行っています。

マテリアルソリューション事業部では、有機材料分野、無機材料分野ともに特長ある「素材・複合材料」の研究開発ならびに製造を行っています。有機材料分野では発泡剤事業等、無機材料分野ではブレーキ用材料、樹脂補強材、導電材などのセラミックスの開発を中心に、ミクロの世界からナノの世界へと進化する開発、製造販売を行っています。また、セラミックス技術を活かし、摺動性、精密補強性、導電性、誘電性などの機能を持つプラスチックの研究開発も行っており、射出成型による部品の製造や3Dプリンタを用いた造形など、「材料」だけでなく「部品」としての事業へと拡大しております。



ライフ サイエンス 事業

独自の技術による医薬品原薬・中間体、合成用原料の開発・製造は世界中から高い評価を頂いています。

ライフサイエンスの製品群は、医薬品関連分野としてだけでなく、電子材料や化粧品中間体、食品添加香料などの幅広い分野へ展開しており、国内はもとより世界中から評価をいただいております。大塚化学(株)徳島工場ではβラクタマーゼ阻害剤を製造する医薬品プラントを所有しており、いち早く医薬品GMP及び米国cGMPの導入に対応してきました。国内及び／又は米国(FDA)の行政官による査察、指導も受けつつ、お客様ならびに国際的な医療事業に貢献できるような品質保証体制の構築に日々注力しています。



主力製品

硝酸カリウム



塩化ナトリウム



二塩酸ヒドラジン



アジピン酸ジヒドラジド



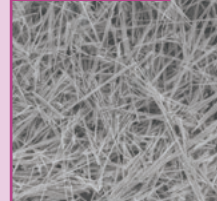
ケムキャッチ



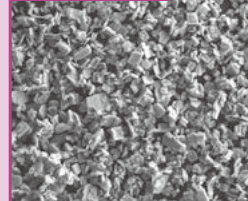
TERPLUS



ティスモ



テラセス



ポチコン



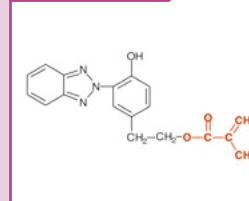
成形品



Q-CHARGE



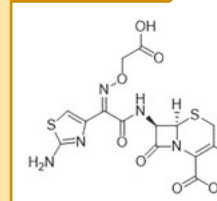
RUVA



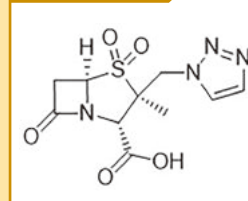
- 機能性ポリマー
 - TERPLUS (分散剤、粘着剤)
- ゴム用添加剤
 - Acroad
- チタン酸カリウム繊維
 - ティスモ
- チタン酸化合物
 - テラセス(ディスクブレーキパッドの主原料)
- 導電性セラミック材料
 - デントール
- 樹脂複合材料
 - ポチコン(精密補強性、表面平滑性、摺動特性)
 - 高誘電ポチコン
 - フィルム用ポチコン
 - ポチコンフィラメント(3Dプリンタ用樹脂複合材料)
- 導電性樹脂複合材料
 - ウイスタット
- アルデヒド用キャッチャー剤
 - ケムキャッチ
- 発泡剤
 - ユニフォームAZ
 - ユニフォームAZ ウルトラ
 - ユニフォームAZ ブレンドタイプ発泡剤
 - 無機発泡剤 ユニフォームAZ P シリーズ
- ヒドラジン誘導体
- ヒドラジド化合物
- 重合開始剤
 - AZO シリーズ
 - OT AZO / MAIB
- 防食防錆剤
 - シヤダン(防錆剤、不凍液)
 - エファール(洗浄剤)
- 無機化学品
- キャパシタ用電解液
 - Q-CHARGE
- 反応型紫外線吸収剤
 - RUVA-93

主力製品

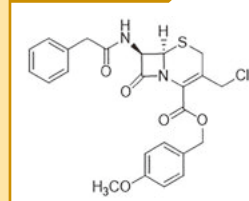
セフィキシム



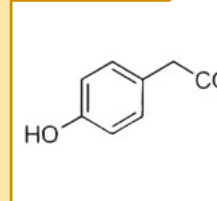
タジバクタム



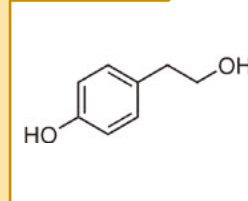
GCLE



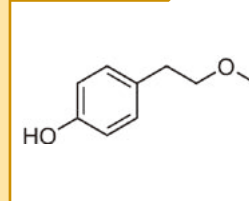
PHPA



PHEP



PHMP



- 医薬品原薬
 - セフィキシム(抗菌剤)
- その他医薬品中間体、反応剤、香料関連化合物
 - p-ヒドロキシフェニルアルコール(PHEP)
 - p-(2-メトキシエチル)フェノール(PHME)
 - p-ヒドロキシフェニル酢酸(PHPA)
- 中空系膜
 - TerpSep®
- CDMO(受託製造)
 - 研究開発と製造管理を国内二拠点の一貫体制で行っています。

Webサイトは
こちらから



省エネルギーの推進や環境負荷の低減、 環境配慮型の体制づくりを積極的に推進しています。

社員教育の充実

大塚化学の社員ひとり一人が熱意をもって、日々チャレンジしています。

燃料転換と設備集約によるCO₂排出量の軽減

大塚グループ 徳島工場の蒸気供給システム



*2024年末時点では、国内10社および統括組織の大塚ホールディングス株式会社に於て統合認証を取得。

2024年1月より、大塚化学徳島工場内において、新型コージェネレーションシステムの運用を開始しました。本システムは、都市ガスを燃料として発電し、その際に発生する熱を工場の冷暖房や蒸気として有効利用しています。この運用を通じて、徳島今切地区で事業活動を行うグループ会社に電気および蒸気を供給することで、大塚製薬株式会社、大塚薬品工業株式会社、大塚食品株式会社、大塚化学株式会社における年間CO₂排出量は約8,000トン削減できる見込みです。さらに、2025年4月からは、大塚ビジネスサポート株式会社を通じた電力託送を開始し、株式会社大塚製薬工場(鳴門工場、松茂工場)への電力供給を行うことで、コージェネレーションシステムのさらなる高効率運転を実現しています。

大塚化学3事業所では環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を取得しています。また、大塚グループ全体でのガバナンスの強化のため、2020年8月に大塚グループにて統合認証*の取得を開始しました。統一された環境目標、マネジメントシステムのもとグループ一体となって環境活動に取り組んでいます。

品質保証の取り組み

大塚化学の製品は、医薬、食品、自動車、電子機器、住宅など、様々な用途・分野で使用されています。お客様それぞれのニーズと品質要求事項、並びにそれぞれの業界で要求される事項を把握し、徹底した品質管理のもと、お客様に満足いただける製品づくりを行っています。

当社では、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001の認証を取得しています。また、国内外の関連製造会社においてもISO9001やIATF16949(自動車産業品質マネジメントシステム規格)などの認証を取得し、グローバルでの連携した生産・品質保証体制を確立しています。

大塚化学は『信頼』を企業理念とし、製品品質の向上だけでなく「ひとの品質」「しぐみの品質」「しごとの品質」の継続的な向上を図り、企業価値の向上と持続的な顧客満足の実現を目指しています。こうした理念のもと、品質保証本部には品質管理・品質保証に加え、化学物質の法令遵守体制を担う「化学物質統括管理室」も配置され、安全面からも製品をサポートしています。ひとの育成にも取り組むことで、品質保証レベルの向上だけでなく、企業全体のパフォーマンス向上や製品・サービスの価値向上、持続的な成長を目指しています。

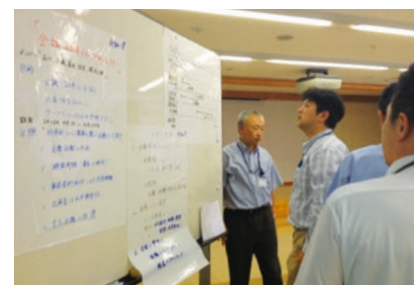


安全道場

徳島工場内の安全道場にて、座学による安全知識の習得に加え、危険体感訓練を行うことで、ひとりひとりの危機感受性の向上を目指しています。こうした活動が評価され2014年に日本化学工業協会「第8回レスポンシブルケア賞」を受賞いたしました。



人材育成への取り組み



プロジェクトマネジメント研修

大塚化学は、人は経験により大きく成長するものであり、学んだことを確実に定着させるには、訓練と実践が大事だと考えています。この考えのもと、当社ではOJT(On the Job Training)を中心に人材育成を図るとともに、若い社員を、役職に関係なく大きなプロジェクトのメンバーに起用したり、責任あるポジションに抜擢登用したりすることを積極的に行ってきました。現在もこの考え方に変更はありませんが、近年の急激な社会・経済・業界の変化に伴いグローバル経営が急がれる中、体系的な人材育成にも力を入れています。

教育体系（階層別研修など）

階層別研修として、入社時やチーフ・係長・管理職への昇格時等の節目に集合研修を実施する一方、若手社員に着実に成長してもらいたいという思いから、入社2年目にフォローアップ研修、4-5年目にステップアップ研修等を手厚く行っています。また、海外赴任者向けに異文化対応・語学研修等を実施しているほか、次世代リーダー研修等の選抜型研修や、幹部や次世代人材を対象に、外部教育機関の経営を体系的に学ぶコースに派遣しています。また必要に応じて外部講師を招いて特別研修を行うなど、柔軟な育成を心がけています。



研修の様様

MBA取得支援制度

将来の経営人材・グローバル人材を育成する目的で、公募によるMBA取得支援を行っています。仕事との両立に加え、授業の多くが英語で行われますので、精神的にも体力的もハードですが、高度な経営学を学ぶことによるスキルアップだけでなく、英語力の向上や意欲あふれるクラスメートとの出会いなど、得るものが多く、社員にとっても挑戦し甲斐のある支援となっています。



2022年3月にMBA取得



自己啓発支援

社員のやる気と学習意欲を応援するための制度として、語学だけでなく、各種資格に対応した「資格取得報奨金制度」と「自己啓発補助制度(受講費半額補助)」を実施しています。また全額会社負担でe-ラーニングと英語能力検定を受けることができ、幅広い内容を自由に学べるよう環境を整えています。一方、毎月1回社内外より講師を招き、様々なテーマでオンラインの自己啓発セミナーを開催しており、社員は誰でも参加可能です。



D & I（ダイバーシティ＆インクルージョン）の推進

社会と当社グループの持続的成長を実現する取り組みの一つとして、D&Iを推進しております。

D & I（ダイバーシティ＆インクルージョン）推進

当社では、D&I推進委員会を設置し、経営戦略の一環として、人材の多様性充実を通じて、個々の能力発揮、知のシナジーを発現させることにより、組織としての成果を向上させ、魅力ある会社、社会に信頼される会社にするを目的に、以下3つの会社方針に則ってD&I推進活動を行っており、ワークライフバランスの取組みや在宅勤務制度の導入、育児休職の取得推進、若手社員懇談会の開催などハードとソフトの両面の取組を実践しています。

- ① 意欲のある有能な社員が働き続けたいという会社にする
- ② 国・文化・性別の多様性に対応できる人材を育成する
- ③ グローバル展開における現地化（グローカル化）



大塚D&I推進担当者会議



女性活躍推進

大塚グループでは、大塚ホールディングスが国連グローバル・コンパクトとUN Womenが共同で作成した、女性の活躍推進に自主的に取り組む企業の行動原則である WEPs (Women's Empowerment Principles) に署名しました。大塚化学は、女性活躍推進法に基づく認定制度で、2019年3月、えるぼし(三つ星)の認定を受けました。

健康経営優良法人 2026

大塚化学は2020年6月に代表取締役社長の土佐浩平が健康宣言を行いました。健康でやりがいをもって働くことができる環境を整えることが会社にとって最優先事項の一つと考えております。そのため、大塚化学においては健康経営に取り組むため、健康経営体制を組織し『大塚化学健康宣言』に基づき、健康でやりがいを持って働くことができる環境整備の推進に取り組み、2023年に健康経営優良法人に初認定、そして2026年も継続して認定されました。



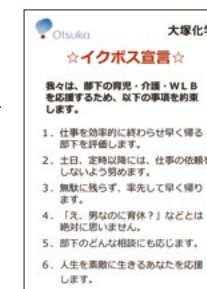
ワークライフバランス

当社では、育児・介護と仕事の両立を支援する勤務制度を充実させています。例えば、育児短時間勤務、育児時差勤務制度は、子供が小学校3年生終了時点まで、介護短時間勤務、介護時差勤務は対象家族1名につき、1年間利用が可能です。さらに、ノー残業デーや在宅勤務制度を設けるなど、ワークライフバランスの向上に努めています。

2020年には優良な「子育てサポート」企業として「プラチナくるみん」が、厚生労働大臣より認定されました。

イクボス宣言

新しい時代の理想の上司(イクボス)を育てていこうとする企業のネットワーク『イクボス企業同盟』に2019年に加盟し、イクボス宣言をしました。当社では、全ての社員が仕事とプライベートを充実させ自分らしく活躍できるよう、部下のキャリアと人生を応援しながら高い業績を上げ続けることができるイクボスの育成に積極的に取り組んでいます。当社は人生を素敵に生きるあなたを応援します。



グローバル人材交流制度

当社グループのグローバル展開に資する人材の発掘と育成、ならびに当社のダイバーシティ推進活動の一環として、2014年度よりグローバル人材交流制度(Global Exchange Program)を設けました。現在は海外関係子会社から社員を2週間～3ヶ月間受け入れ、当社グループや日本を理解してもらうための研修プログラムを実施していますが、次のステップとして当社社員の海外子会社での実地研修プログラムを並行して実施する構想です。



グローバル人材交流施設見学

事業所内保育所

大塚グループでは、徳島、大阪、つくばに事業所内保育所を設置しています。徳島は2011年の開園当初は100人だった定員を、2014年には150人、さらに2018年には210人に増員し、事業所内保育所としては国内最大級の規模になりました。社員の多様なライフスタイルをサポートし、安心して仕事を継続できる環境を整えています。



大阪

徳島

関連データ

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
女性管理職比率（対管理職全員）	10.9%	12.3%	12.2%	13.2%	11.8%
女性管理職比率（対女性正社員全員）	24.6%	27.9%	26.6%	27.9%	24.6%
管理職比率（対正社員全員）	30.8%	31.5%	31.1%	31.0%	30.2%
障がい者雇用率	2.3%	1.9%	2.8%	2.9%	2.4%
女性の育児休業取得率	100%	100%	100%	100%	—（※1）
男性の育児休業取得率	16.7%	38.9%	48.1%	69.2%	140%

※2025年12月末現在、15名の外国籍社員（中国、韓国、フィリピン、インドネシア）、4名の現地採用社員（ベトナム）が在籍しています。

※育児休業取得率は、「当年1月1日～当年12月31日に育児休業を開始した従業員数」÷「当年1月1日～当年12月31日の間に子どもが生まれた従業員数」で算出しており、前年度対象者による育児休業開始が含まれるため、算出不能または100%を超える場合があります。

（※1）2025年度の対象者1名は、2026年度に育児休業を開始いたしました。

Webサイトはこちら



社会貢献
コミュニケーション

豊かな暮らしを提供するために、文化・教育などの社会貢献活動を行っています。

より良い製品の研究開発だけでなく、豊かな暮らしのための社会貢献活動にも大塚化学は取り組んでいます。伝統行事や学校教育への支援、清掃活動など、さまざまな貢献活動をこれからも続けてまいります。

阿波踊りへの参加 ～大塚はつらつ連～

徳島では、日本三大盆踊りのひとつ「阿波踊り」が地元地域の活性化に繋がっています。大塚化学も企業連として、1963年に「大塚化学連」を結成して以来、1988年に「大塚はつらつ連」に名前を替え、8月のお盆に従業員やその家族と共に参加活動しています。



大塚はつらつ連の阿波踊り



学校教育への支援

大塚化学は、グループの大塚製薬、大鵬薬品工業と共に、徳島県など産官学共同で進める「環境首都 あとびと・エコスクール」制度にもとづき、徳島市内の学校と協定を結んで環境教育の支援をしています。自分たちが暮らす町の水質調査や、事業所における環境配慮の取り組み状況の見学を通じて、環境保全への興味を深めてもらっています。



トマト選果場見学



高校生による水質調査



授業風景

清掃ボランティア活動の実施

多くの従業員とその家族の参加を得て、各事業所の周辺地域の清掃活動を行っています。



事業所周辺の活動



サステナビリティ

大塚グループは、企業理念のもと、事業を通じた社会課題の解決に取り組み、自らの持続的な成長と健康でサステナブルな社会の実現を目指します。

大塚グループのサステナビリティ

https://www.otsuka.com/jp/sustainability/hd_activity/sustainability.html



・システィナ・ホール 写真は大塚国際美術館の展示作品を撮影したものです

大塚国際美術館
OTSUKA MUSEUM OF ART

<https://o-museum.or.jp/>

大塚国際美術館

大塚国際美術館は、大塚グループ創立75周年記念事業として徳島県鳴門市に設立した、世界で類をみない「陶板名画美術館」です。

古代壁画から世界26ヶ国190余りの美術館が所蔵する現代絵画まで、大塚オーミ陶業の特殊技術により西洋名画1000余点を陶板で原寸大に再現・展示しており、原画の美術的価値を余すことなく半永久的に伝えています。

また建物は、鳴門の美しい環境や景観を守るために山の中に建設され、地下3階から地上2階にわたり「環境展示」「系統展示」「テーマ展示」の3つの方法で、より深く、楽しく絵画を理解していただけるようになっています。またアートを身近に感じていただけるよう多彩なイベントを実施しています。

徳島ヴォルティス

徳島ヴォルティスは徳島県全域をホームタウンとして活動するプロサッカークラブです。大塚製薬サッカー部を母体として1955年に創設。2004年にJリーグ参入が承認されました。ヴォルティスはイタリア語で「渦」を意味する「VORTICE」から生まれた造語です。鳴門の渦潮にあやかり、パワー、スピード、結束力を備え、観客を興奮の渦に巻き込む想いが込められています。

Jリーグ参入当初から鳴門・大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアムをホームスタジアムとしてJリーグを舞台に戦っています。2013年にはJ2リーグで4位となりJ1昇格プレーオフに進出し、国立競技場でおこなわれた決勝で京都サンガF.C.に2-1で勝利してクラブ史上初のJ1昇格を達成。2020年にはJ2優勝を遂げて7年ぶりのJ1昇格を果たします。2021年はJ1で10勝を挙げるも、最終節で敗れて残留することが出来ずに降格となりました。J1復帰と定着を目標としたクラブづくりに取り組んでいます。

※SIB・・・ソーシャルインパクトボンド

民間資金を活用して社会課題解決型の事業を実施し、地方公共団体がその成果に応じて対価を支払うスキーム。



<http://www.vortis.jp/>



©2009 T.V. CO.,LTD.



M E M O

[illegible]This image shows a full page of a handwriting practice worksheet. It consists of multiple rows of horizontal dashed lines spaced evenly down the page, providing a guide for letter height and placement. The background is plain white, and there are no other markings or text present.



Otsuka

大塚化学株式会社

本 社
〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通3-2-27
Phone : 06-6943-7701 Fax : 06-6946-0860

東 京 本 部
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2
Phone : 03-5297-2727 Fax : 03-5297-2777

中 部 エ リ ア 事 業 開 発 室
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-5-28 桜通豊田ビル13F
Phone : 052-571-5526 Fax : 052-571-5527



<https://www.otsukac.co.jp/>